

近代彫刻の先駆者 長沼守敬 —史料と研究

石井元章（大阪芸術大学教授）編

定価 19,800 円（本体 18,000 円 + 税 10%）

A 5 判上製函入 本文 772 頁 カラー口絵 8 頁 ISBN 978-4-8055-0959-3 C3071 2022 年 3 月刊

本書は明治期の彫刻家、長沼守敬（ながぬまもりよし、1857～1942）の生涯と作品をまとめた本邦初の史料集兼、研究書である。

近代彫刻史の「歴史化」の過程、またほとんどの作品に自らの名前を彫り込まなかった長沼の謙虚さ故に、彼の生涯と業績は過小評価されてきた。しかし長沼は岩倉具視や木戸孝允、渋沢栄一など明治期に活躍した人々の肖像を制作し、イタリア彫刻の最先端の技術を日本にもたらした、日本彫刻界初期の実力ある先駆者である。さらに東京美術学校塑造科の初代教授として教育活動にも従事し、行政にも深く携わった非凡な人物であった。

長沼の生涯を詳述する伝記編、54件に及ぶ長沼の作品を解説する作品編、最新の研究成果をまとめた論考編、それらに付随する膨大な史料を通して、長沼守敬の真価を問う。



岩倉具視胸像

〔東京国立博物館、出典：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)〕

目次

はじめに

I 伝記編

長沼芸術の内なる風土 一閑とヴェネツィア
長沼守敬の生涯
伝記編 史料 a 千葉 瑞夫
石井 元章

II 作品編

作品

留学中の作品(一八八二〜一八八七年)
1.《女性半身像》《童子》《肖像》/2.《緒方惟直記念墓碑》/3.《リト島にて》/4.《青年像》/5.《自製鑄銅像》
帰国後ヴェネツィア・ピエンナーレまでの時期の作品(一八八七〜一八九七年)
6.《鍋島直大胸像》/7.《船越昌隆浮彫》/8.《土方久用胸像》/9.《岩倉具視胸像》/10.《木戸孝允胸像》/11.《毛利家群像》/12.《伊国皇帝半身肖像》/13.《岩崎榮三歳胸像》/14.《榊椒胸像》
ピエンナーレからローマ・トリノ・二重万国博覧会までの作品(一八九八〜一九二二年)

15.《近衛忠熙胸像》/16.《渡邊洪基胸像》/17.《林友幸胸像》/18.《エドワード・ダイヴァース胸像》/19.《老夫》または《石塚辰五郎胸像》/20.《五代友厚立像》/21.《山尾庸三胸像》/22.《洪沢栄一立像》/23.《エルヴィン・ベルツ金ヌタル》/24.《水野遵立像》/25.《黒田清隆立像》/26.《前島密胸像》/27.《毛利元徳騎馬像》/28.《エルヴィン・ベルツ胸像》/ユリウス・スクリーバ胸像/29.《久良知寅次郎立像》《同顔面》/30.《磯野小右衛門立像》/31.《磯野小右衛門小立像》/32.《竹橋尚文中将の依頼になる加賀人の小座像》/33.《阿部彦太郎立像》/34.《藤田伝三郎立像 萩》/35.《濱田玄達胸像》/36.《岩下清周胸像》/37.《桂太郎胸像》/38.《堤正誼胸像》/39.《長谷川謹介腰掛像》/40.《櫻井錠一銅ヌダル》/41.《竹内祐蔵腰掛像》/42.《鍋島閑叟公立像》/43.《鍋島閑叟公胸像》

館山隠居後の作品(一九二二〜一九三七年)

44.《藤田伝三郎立像 大阪》/45.《井上馨立像》/46.《堀口いさ・佐代子墓碑》/47.《長沼守敬八〇歳自刻像》
制作年不詳の作品

48.《原義成氏先代座像》/49.《瀧和亭浮彫》/50.《金子与四郎座像》/51.《小池正直男爵小胸像》《小池正直男爵夫人小胸像》/52.《小此木某浮彫》/53.《洲戸吉衛小胸像》/54.《小柴医学博士の弟の胸像》

その他

55.長沼三郎《若きナポレオン》/56.和田嘉平治について/57.寺崎武男のヴェネツィア美術学校留学時代について
作品編 史料 b(長沼の執筆・談話による史料)

III 論考編

明治彫刻史の中の長沼守敬
長沼守敬の芸術とヨーロッパの源泉 佐藤 道信
長沼守敬と内藤耻堂 石井 元章
日本初のイタリア彫刻展と長沼守敬 明治二十二年「伊国彫刻展覧会」 五十嵐公一
長沼守敬とジャコモ・ボニーニ——ヴェネツィア留学から大正期の日伊交流へ 石井 元章
長沼守敬の現存作品に関する3D計測について 福山 佑子
論考編 史料 c 十二 紀行

長沼守敬年表 / 初出一覧・執筆者一覧 / あとがき / 英文要旨(Abstract) / 索引(人物)

著者略歴

石井元章 (いしい・もとあき)

1957年生まれ。東京大学法学部第一類、同大文学部イタリア語イタリア文学科(現南欧文学科)卒業。東京大学大学院人文社会系研究科美術史学専修課程博士課程修了(文学博士)。イタリア国立ピサ高等師範学校大学院文哲コース修了(文学博士)。2018〜2019年ミラノ大学文学部文化・環境財学科招聘教授。大阪芸術大学芸術学部教授。

著書：『ヴェネツィアと日本—美術をめぐる交流』ブリュッケ、1999年、『ルネサンスの彫刻 15・16世紀のイタリア』ブリュッケ 2001、2007年、『明治期のイタリア留学 文化受容と語学習得』吉川弘文館、2017年。日本語、英語、イタリア語の論文多数。

関連書籍

藤岡作太郎「李花亭日記」〈美術篇〉 村角紀子 編

明治期の国文学者藤岡作太郎の著した「李花亭日記」(石川近代文学館蔵)から、美術との関連の深い明治32〜36年の日記と紀行文を選出して翻刻した明治期美術界の状況を知るうえで貴重な史料の公刊。

定価 19,250円(税込)

A5判上製両入 本文720頁 口絵16頁 2019.3 ISBN 978-4-8055-0855-8

五姓田義松史料集 角田拓朗 編

洋画家・五姓田義松の全貌を明らかにする初の翻刻史料集。多岐にわたる資料を収集・再構成し、編者による解説を併載し、近代日本美術史さらには近代日本史への新知見を提示する。

定価 18,150円(税込)

A5判上製両入 本文584頁 口絵16頁 2015.9 ISBN 978-4-8055-0744-5

お取り扱い

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798